

2025年4月15日

ヤマト モビリティ & Mfg.株式会社  
株式会社 IAT  
SBS ホールディングス株式会社

## EV コンバージョントラック量産・量販予定車 ナンバー取得のお知らせ

～ ヤマト モビリティ・IAT・SBS ホールディングス共同開発による  
日本初の量産・量販 EV コンバージョントラック発売開始 ～

ヤマト モビリティ & Mfg.株式会社(代表取締役:鈴木 昭寿、本社:埼玉県川越市、以下「ヤマト・モビリティ」)、株式会社 IAT(代表取締役:劉 剣、本社:愛知県岡崎市)、SBS ホールディングス株式会社(代表取締役:鎌田 正彦、本社:東京都新宿区、以下「SBS ホールディングス」)の3社は、共同で中古 1.5 トントラックの EV コンバージョンに関する開発および量産・量販化の取り組みを進めてまいりましたが、このたび、量産・量販を前提とした EV コンバージョントラックにおける改造認可申請(複数台申請)が正式に認可され、車両ナンバーを取得しましたのでお知らせいたします。

なお、量産・量販を前提とした小型トラックの EV コンバージョンの認可は日本初となります。

本ナンバー取得を受けて、2025年 4 月 15 日にはSBSホールディングスの本社において、初号車の引き渡しが行われました。

SBSグループは、このEVコンバージョンによって、同型の新車を新規購入するのと比較して約3分の1の費用でEVトラックを導入することが可能となり、CO2排出量削減に向けてトラックのEV化が一層加速されることとなります。SBS グループ全体では、2025年3月時点で72台のEV車両が走行していますが、まずはヤマト・モビリティからの導入を皮切りに、2025年上期中にさらに20数台程度のEVを追加導入する計画です。

今後は、公道での実走行を経て、SBSグループ内各社における EV コンバージョン車両の導入を進めていく予定です。また、ヤマト・モビリティは SBS グループ各社と共同で、グループ各社がすでに保有しているディーゼルトラックの EV コンバージョンを推進し、車両の再利用を通じてEV保有比率を高める活動を支援します。

なお、今回の「複数台申請」の認可取得により、同一型式・同一改造内容であれば車両登録が容易となったことから、ヤマト・モビリティが保有する EV コンバージョントラックのデモ車(2号車)もナンバーを取得し、同社は SBS グループ各社以外のお客様からもご要望があれば訪問、公道試乗に対応することが可能となりました。

3社は今後、物流・流通業界全体における EV 比率の向上と、環境負荷の低減に一層寄与していくとともに、EV 改造・整備におけるパートナー企業の全国的な募集も進め、事業のさらなる拡大を図ってまいります。

以上

会社概要は下記をご覧ください。

<ヤマト モビリティ&Mfg.株式会社>

URL:<https://www.yamato-in.co.jp/>

<株IAT>

URL:<https://www.iat-auto.jp/>

<SBS ホールディングス株式会社>

URL:<https://www.sbs-group.co.jp/>

◆本件に関するお問い合わせ先

ヤマト モビリティ&Mfg.株式会社 管理本部 IR・広報担当

e-mail:[contact01@yamato-in.co.jp](mailto:contact01@yamato-in.co.jp)

SBS ホールディングス株式会社 IR・広報部

e-mail:[contact11@sbs-group.co.jp](mailto:contact11@sbs-group.co.jp)

※ 当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。



SBS ホールディングス本社での、初号車引渡し式  
(左:SBS ホールディングス 代表取締役社長 鎌田正彦、右:ヤマト・モビリティ 代表取締役 CEO 鈴木昭寿)



初号車サイドビュー



ヤマト・モビリティ 試乗デモ車 (2号車)